

## 術後疼痛管理チームに関するお知らせ

当院では、麻酔科医師、薬剤師、看護師から構成された術後疼痛管理チームによる術後疼痛管理を実施しています。術後疼痛管理チームの設置により、全身麻酔患者に対して、離床の改善・術後合併症の減少・入院日数短縮などが期待されています。手術を受けたあなたの回復が順調な経過をたどれるように、術後疼痛管理チームが疼痛対策・副作用対策を行います。

### ●手術後の痛みが及ぼす影響

手術後の痛みは術後の回復促進を妨げる原因となります。痛みにより身体を動かすことができず、消化管機能不全を起こします。また、痛みにより深呼吸や咳がうまくできず、肺炎などの呼吸器合併症を引き起こす場合があります。痛みにより離床がうまく進まずベッドから起き上がれないことにより、深部静脈血栓症、肺塞栓を起こすことがあります。痛みが強いと、心拍数増加、血圧上昇を引き起こし、心臓に負担をかけてしまい、循環器合併症を起こす場合があります。痛みが続くことで、不安や苦痛が高まり術後せん妄や不穏状態などの精神機能障害を起こす可能性があります。

●以上の影響を少なくために、術後疼痛管理チームが主治医や病棟看護師と連携し、術後の痛みやその他の副作用を和らげるお手伝いをします。

### ●術後疼痛管理チームによる術後疼痛管理の進め方

□ 手術後は術後疼痛管理チームが主治医や病棟看護師と連携して痛みに対応していきます。

□ 痛みの強さ<sup>※</sup>や痛み止めの使用状況を評価します。また、副作用などを確認します。

※ 痛みの程度は0～10の数字で表します。じっとしている時と動いている時の2つの痛み

をそれぞれ数字で教えてください。（0が痛みのない状態、10が耐えられない痛みです。）

□ 必要に応じて痛み止めの調整を行います。また、副作用対策を提案し、快適な手術後の生活が送れるようにサポートします。

痛みが強い場合や気持ち悪いなどの症状、その他困ったことがあった場合は遠慮なくご相談ください。

術後疼痛管理チーム